

ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ピッコロを中旬に発行しています。
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp>

揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 Tel 23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～16:00

- ◎町内の幼稚園 なかよしタイム
毎月第2水曜日
時間：10:00～11:00（園庭開放）
※雨天の場合は中止とさせていただきます。
- ◎揖斐幼稚園の開放日
3月12日（水）
直接幼稚園へお申込みください。
Tel 22-6008（当日可）

3月の活動予定 行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。（電話予約不可）

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ひなまつり	4 年齢別交流 (りんごグループ)	5 年齢別交流 (いちごグループ)	6 リフレッシュ体操	7	8
9	10 発育測定	11	12 年齢別交流 (さくらんぼグループ)	13	14 ありがとうの会	15 開館日
16	17 年齢別交流 (ひよこグループ)	18 お話ルーム 誕生会	19	20 春分の日	21	22
23	24	25 ハローワーク大垣 マザーズコーナー巡回相談	26 歯科教室	27	28	29
30	31					

「3月の年齢別交流」 同じ年に生まれたお子さんと親さんの交流の時間です

- 🍎りんごグループ（2021.4.2生～2022.4.1生）
- 🍓いちごグループ（2022.4.2生～2023.4.1生）
- 🍓さくらんぼグループ（2023.4.2生～2024.4.1生）
- 🍓ひよこグループ（2024.4.2生～現在）

「おたのしみ会」



子育て支援センターは、子ども（0～18歳未満）に関するあらゆる相談窓口です。
一人で悩まないで気軽にご相談ください。

- ◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。
- ◎行事など変更、中止になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センターの紹介～

みんなで子育て ～いっぱいあそんで、大きくなったよ～

支援センターには、毎日たくさんのお子さんが遊びに来てくれます。「元気に遊びに来れたね!」とお帳面にシールを貼っています。増えていくシールを見て「いっぱい!」「毎日来たね」と嬉しそうに話し、楽しみの一つにもなっているようです。

お家の人に抱かれて気持ち良さそうにぐっすり寝ていたり、つかまり立ちやハイハイをしていた子が、元気に走り回る姿を見て、パパとママは「あんな時もあったね」と懐かしそうに思ったり、お友達におもちゃを貸してあげたり、挨拶をする姿を見て「うちの子もできるようになるかな」と楽しみにしたりする言葉が聞かれます。

一緒に遊んだり、時にはおもちゃの取り合いでケンカをして泣いたり、友達との関わりの中で、子ども達は心も大きく成長しています。一人一人の成長を、みんなで喜び、みんなで子育てを楽しんでいます。



子育てちゃんねる

～児童発達支援とは?～

児童発達支援は2017年に支援の質の確保及び向上を図るために児童発達支援ガイドラインが策定され、2024年7月に改定されました。支援の対象となるのは自治体による福祉サービスの利用に必要な証明書「通所受給者証」を交付された未就学(0～6歳)のお子さんです。障がいを持つお子さんや成長の過程で支援の必要があると思われるお子さんが日常生活に必要な動作を習得し集団生活に適應することができるよう個別、または小集団での活動を通し支援していきます。

揖斐川町には「児童発達支援事業所 いびがわアップル」という名称で児童支援を提供している事業所があります。利用にかかわらずお子さんの発達相談は随時受け付けておりますのでお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】 児童発達支援事業所いびがわアップル TEL23-1139

「遊びの楽しさ」 いびがわ園キッズ!

～きよみず幼稚園～

きよみず幼稚園では、季節に応じた遊びをクラスや異年齢でおこなっています。

春には散歩先でヤゴの羽化の瞬間に遭遇したことで、自然や生き物に興味を持つきっかけになりました。「今日もヤゴ探しに行きたい」という子どもの自主性を大切に、何度か水路に足を運び、観察を続け、命の尊さを知りました。

夏になると、水を使った遊びが盛り上がり始め、年上児が年下児に遊び方を教えたり、遊ぶ中で学びの姿勢が見られました。遊び方が分かると、「今日は〇〇して遊ぶ」「昨日の続きしよ」と自分のやりたい遊びを自ら選択し、目的をもって遊びました。一人でじっくり遊んだり、気の合う友達たちだったり、年齢の枠を超えて一緒に遊んだり異年齢での交流も深まりました。

秋は、運動遊びが充実し、自分たちで使いたい運動用具を出してきたり、配置などをどうするか相談し、並べたりして遊びを広げていきました。遊んでいる中で生まれたトラブルから、ルールが必要なことに気づき、「こうしたらどう?」と自分たちで考えて進めていけるようになりました。

冬は、廃材遊びなどで仲間と作りたい物を決め、それに必要な物を保育士に要求し、イメージに近づけるためにどうしたらいいか試行錯誤しながら作っています。

このように、子どもの取り組み過程を大切に、遊びながら楽しく繋がることを願います。また、子どものやりたいことを実現できるような環境を保障し、遊び込める子の育成に努めていきたいです。

